



2011年3月期 第2四半期決算説明会

ケンコーマヨネーズ株式会社

2010年 11月 19日



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

本日の内容



I. 2011年3月期 第2四半期決算の概況

II. 2011年3月期 業績予想

財務経理本部管掌 常務取締役 奥田 洋

III. サラダ No. 1 企業を目指して

代表取締役 社長 炭井 孝志

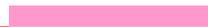
IV. 質疑応答

V. 添付

参考資料【1】【2】及びお問い合わせ先



I . 2011年3月期 第2四半期決算の概況



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.



①2011年3月期 第2四半期決算の概況

I . 2011年3月期 第2四半期 決算の概況

食品業界 消費者の節約志向は変わらず、
価格競争は激化しており、
客単価の下落が続いている

1. 中期経営計画(KVR)の指針に基づく事業戦略及び販促活動により、販売数量の減少に歯止めがかかる
2. 販売単価は前年同期比 2%の下落
3. 穀物相場等の原料事情の落ち着きはプラス要因
4. 経常利益は計画比10. 5%増、純利益は同比17. 4%増、計画値を達成



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

②中期経営計画(KVR2010) 二年目の主な成果(1)

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



◇商品開発の成果

- ・新機軸商品の展開 : 実績 110アイテム／12億円増収
(健康志向に対応したディライトシリーズ、低カロリードレッシング等)
- ・製パン分野に特化した新商品の拡大 : 実績 32アイテム／1.4億円増収
(原料・素材加工技術)

◇販売促進活動

- ・お客様展示会への参加: 221回
- ・当社工場への招聘 : 76回

②中期経営計画(KVR2010) 二年目の主な成果(2)

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



◇生産性の向上

- ・生産改革の推進と継続(ムダ、ムラ、ムリの徹底排除)
- ・TPM活動の推進(生産効率を極限まで高める)
- ・設備更新などによる生産性向上
- ・商品の絞り込み 139品目廃番
- ・生産革新への取り組み(ドレッシング統合ラインの導入)
- ・環境設備投資(ゼロエミッション、省エネ設備導入)

最適生産体制の確立

◇物流の効率化

- ・最適物流体制構築への取り組み継続
(2拠点体制の拡充、製品在庫の圧縮、商品荷姿の最適化等)

③生産革新 西日本工場「ドレッシング統合ライン」の稼働

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



【生産ライン・コンセプト】

- 全行程をプログラミングにより管理し、フルオートメーション化されたドレッシング生産
- 4つのキーワード
「先進性・工程改善」、「高品質・おいしさ」、「安心・安全」、「環境への取組み」
をもとに、徹底した製品の衛生管理と検査体制にて9月より生産開始。

【統合ライン(全景)】



【充填機】



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

7

④生産、販売、環境への取組み

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



大型形態マヨネーズ供給システム

【コンセプト】

「大型形態マヨネーズ」 + 「マヨネーズ供給設備」 + 「サニテーション・メンテナンス」 3点セット

- ◆当社がお客様とメンテナンスリース契約を締結(契約年数:6~8年)
「大型形態マヨネーズ」(190kgドラム又は1トンのコンテナ)をお客様に供給
- ◆システムのご提案から設置まで、お客様に提供
- ◆サニテーション業者と契約を結び、設備の「サニテーション・メンテナンス」サービスをお客様に提供

【お客様のメリット】

- ①作業の省力化、廃棄物の削減
例)10kgカートン形態を20個使用している → 190kgのドラム缶形態に変更
20個を開封する手間がなくなる、袋・カートンの廃棄物量が削減
- ②メンテナンスリース方式によって、お客様の初期投資がありません
- ③設備のサニテーション・メンテナンスが、サニテーション業者定期訪問により実施

ドラムフィーダー



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

8

⑤ 損益計算書の概要(連結)

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



単位: 百万円・%

	2010年3月期 第2四半期実績			2011年3月期 第2四半期実績				2011年3月期 計画 (2010/05/12発表)	
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比	計画比	金額	構成比
売上高	26,216	100.0	-3.5	25,434	100.0	-3.0	-1.8	25,900	100.0
売上総利益	7,235	27.6	18.5	7,250	28.5	0.2	-	-	-
販売管理費	5,654	21.6	-2.7	5,722	22.5	1.2	-	-	-
営業利益	1,580	6.0	439.9	1,528	6.0	-3.3	5.4	1,450	5.6
経常利益	1,520	5.8	454.3	1,492	5.9	-1.8	10.5	1,350	5.2
税金等調整前 純利益	1,325	5.1	383.6	1,438	5.7	8.5	-	-	-
当期純利益	748	2.9	402.4	822	3.2	9.9	17.4	700	2.7
1株当たり 当期純利益	58円12銭			64円95銭				54円34銭	

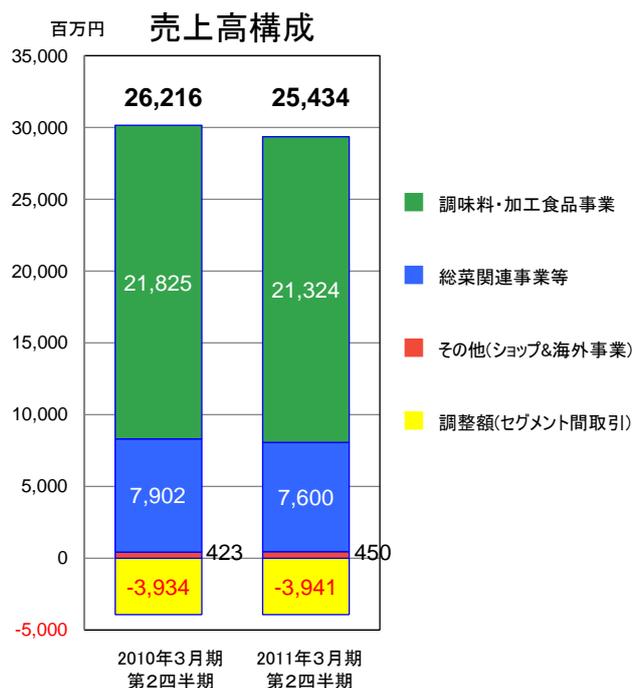
- 計画比では、販売単価下落により売上高1.8%の減少となったが、製造コストの改善、原材料コストの低減等により経常利益+10.5%の増加。

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

9

⑥ 決算概況(連結)(1) セグメントの概況

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



調味料・加工食品事業

(調理加工食品、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品)

- 減少が続いていたセグメント全体の販売重量は前期比下げ止まった(前期比微増)が、販売単価が下落(同△2%)したため減収となった(△2%)。

商材別前期比	売上高	販売重量
調理加工食品	+0.3%	+4.1%
マヨネーズ・ドレッシング類	△3.7%	△2.8%
タマゴ加工品	+1.3%	+5.5%

総菜関連事業

(フレッシュ総菜[日配サラダ、惣菜]、グループ内生産受託)

外部顧客に対する売上に関する概況

- セグメント全体では、販売重量が減少し(前期比△4.9%)、販売単価も下落した(同△2.4%)結果、減収となった(同△7.6%)。
- 減収は、北海道地区における売上減及び九州地区における事業再編などの一過性の特殊要因によるもので、関東・関西地区はポテトサラダ、マカロニサラダなどの主力商品の導入を戦略的に進めた結果、3%程度の増収となった。

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

10

⑥決算概況(連結)(2) セグメント 決算の概要

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



単位: 百万円・%

	調味料・加工食品事業					総菜関連事業等				
	2010年3月期 第2四半期実績		2011年3月期 第2四半期実績			2010年3月期 第2四半期実績		2011年3月期 第2四半期実績		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	21,825	100.0	21,324	100.0	-2.3	7,902 ^{*1}	100.0	7,600 ^{*2}	100.0	-3.8
営業利益	1,346	6.2	1,316	6.2	-2.3	219	2.8	208	2.7	-5.5
経常利益	1,325	6.1	1,298	6.1	-2.0	195	2.5	201	2.6	2.6

	その他(ショップ事業、海外事業)					調整額		損益計算書の合計額	
	2010年3月期 第2四半期実績		2011年3月期 第2四半期実績			2010年 3月期 第2四半期	2011年 3月期 第2四半期	2010年 3月期 第2四半期	2011年 3月期 第2四半期
	金額	構成比	金額	構成比	前期比				
売上高	423	100.0	450	100.0	6.4	-3,934	-3,941	26,216	25,434
営業利益	-3	-	4	1.1	-	18	-0	1,580	1,528
経常利益	-4	-	4	0.9	-	4	-11	1,520	1,492

* : 外部顧客に対する売上高を含む(内数): [*1] (4,213)、[*2] (3,894)

⑥決算概況(連結)(3) 商材別売上高構成比

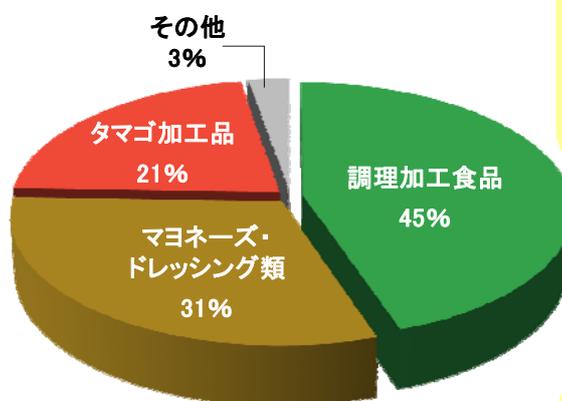
I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



■販売額ベース



2011年3月期 第2四半期



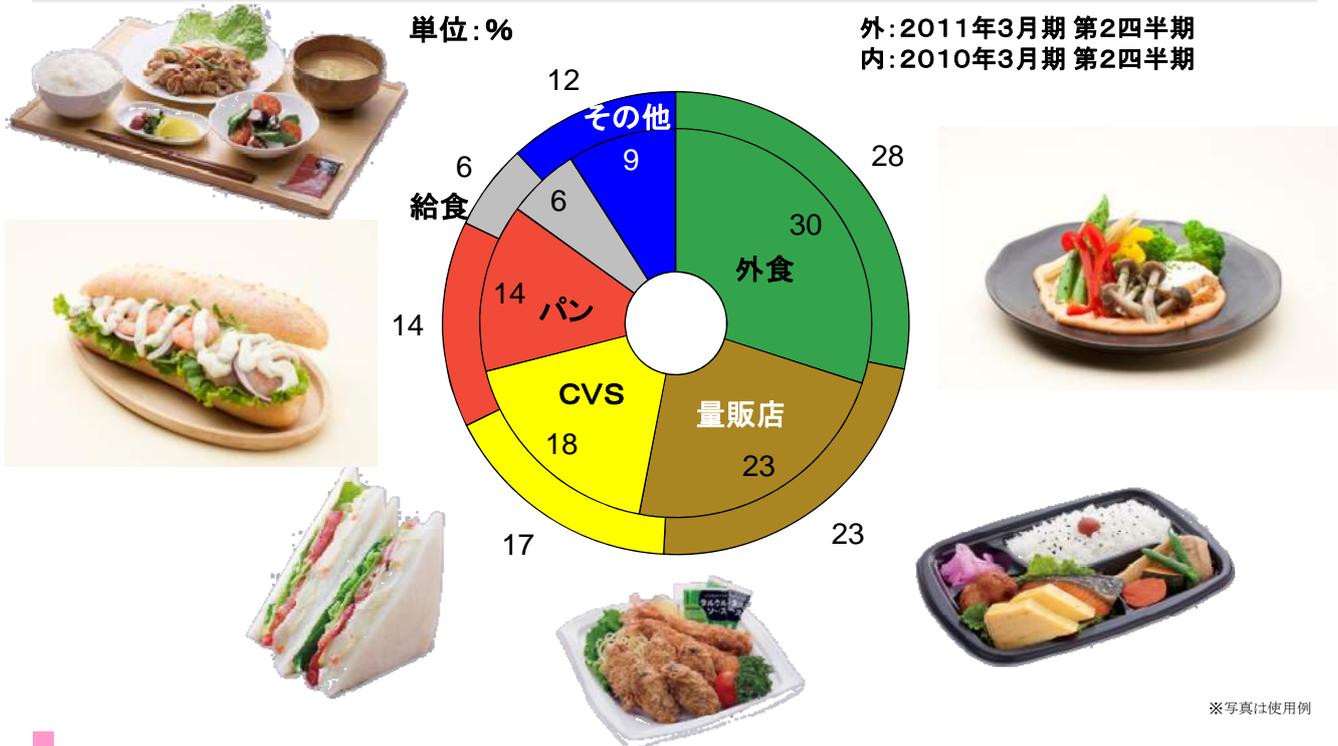
※写真は使用例

⑥決算概況(連結)(4) 分野別売上高構成比

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



■ 販売額ベース



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

13

⑥決算概況(連結)(5) 分野別の主要顧客

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



外食 : ファストフード (ハンバーガー・ピザ・チキン・うどん・回転寿司・牛丼・定食、他)、ファミリーレストラン、居酒屋、コーヒーショップ、他

量販店 : スーパー (全国チェーン・地方チェーン)

CVS : コンビニエンスストア

パン : 製パンメーカー、リテールベーカリー

給食 : 学校・事業所・病院等へのコントラクトフードサービス

その他 : 食品卸、生協、業務用食材スーパー、他

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

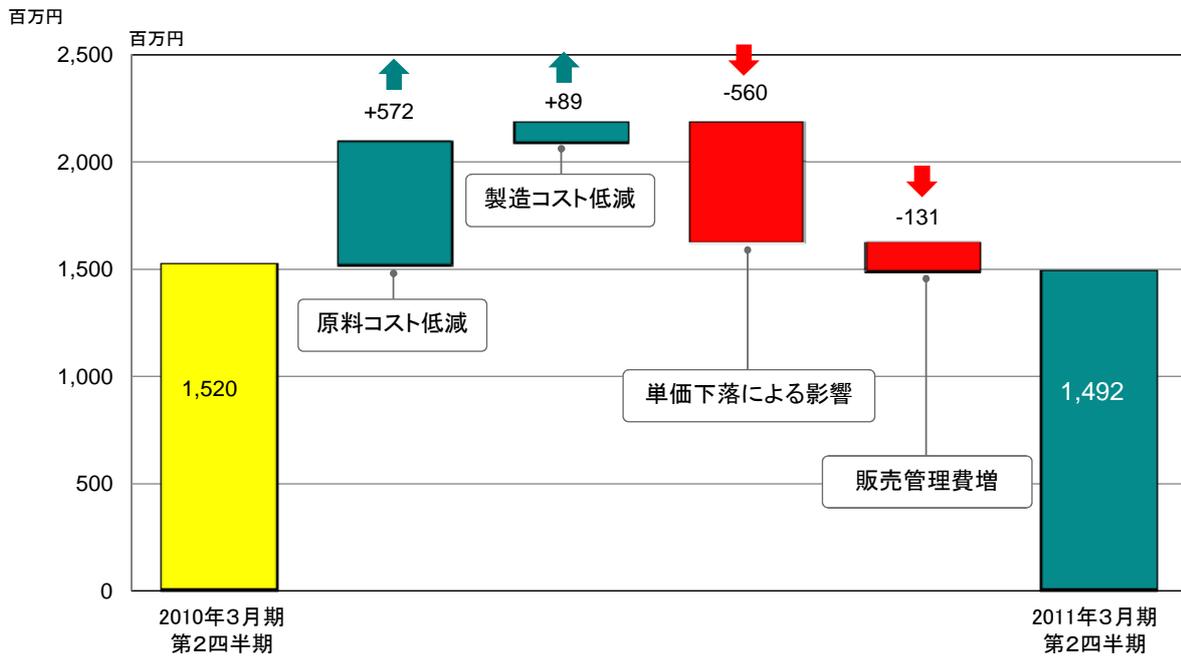
14

⑥決算概況(連結)(6) 経常利益増減

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



- 製造コストの低減、原料コストの低減に努力したが、販売単価下落で営業利益は前期比52百万円の減益、経常利益は1,492百万円となり、前期比28百万円の減益となった。



Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

15

⑦貸借対照表の概要(連結)

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



財政状態

単位: 百万円・%

		2010年3月期	2011年3月期 第2四半期	増減	前年度末比
資産	流動資産	15,966	15,944	-22	-0.1
	固定資産	13,809	13,992	183	1.3
資産合計		29,775	29,937	161	0.5
負債	うち有利子負債残高	8,059	7,765	-294	-3.6
		18,859	18,626	-233	-1.2
純資産	うち少数株主持分	0	0	0	0
		10,916	11,311	394	3.6
負債・純資産合計		29,775	29,937	161	0.5
1株当たり純資産		847円39銭	899円06銭	51円67銭	6.1

- 有利子負債は294百万円の減少
- 純資産は前期末比3.6%増加し、1株当たり純資産が899円06銭に向上した
- 自己資本比率は前期末比1.1%改善し、37.8%となった

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

16

⑧キャッシュフローの概要(連結)

I. 2011年3月期 第2四半期 決算の概況



キャッシュフローの状況

単位:百万円

	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	増減
営業活動によるCF	1,348	788	-560
投資活動によるCF	-688	-863	-175
財務活動によるCF	-253	-509	-256
現金及び現金同等物期末残高	5,433	5,019	-414

- 営業CFは法人税等の支払1,036百万円により、前年同期比560百万円の減少
- 投資CFは有形固定資産取得により、863百万円のアウトフロー
- 財務CFは長期借入金及び同返済、自己株式の取得等により、509百万円のアウトフロー

II. 2011年3月期業績予想

①業界を取り巻く環境(1)

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



■業務用食品市場の動向

- 夏場の天候要因もあり、ファストフードやコーヒーチェーンなど客数が伸びて売上好調な業態もあるが、消費者の節約志向は変わらず、外食産業全体もコンビニエンスストアも総じて客単価を落としていて、価格競争が激化している。

①業界を取り巻く環境(2)

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



■原料相場の動向

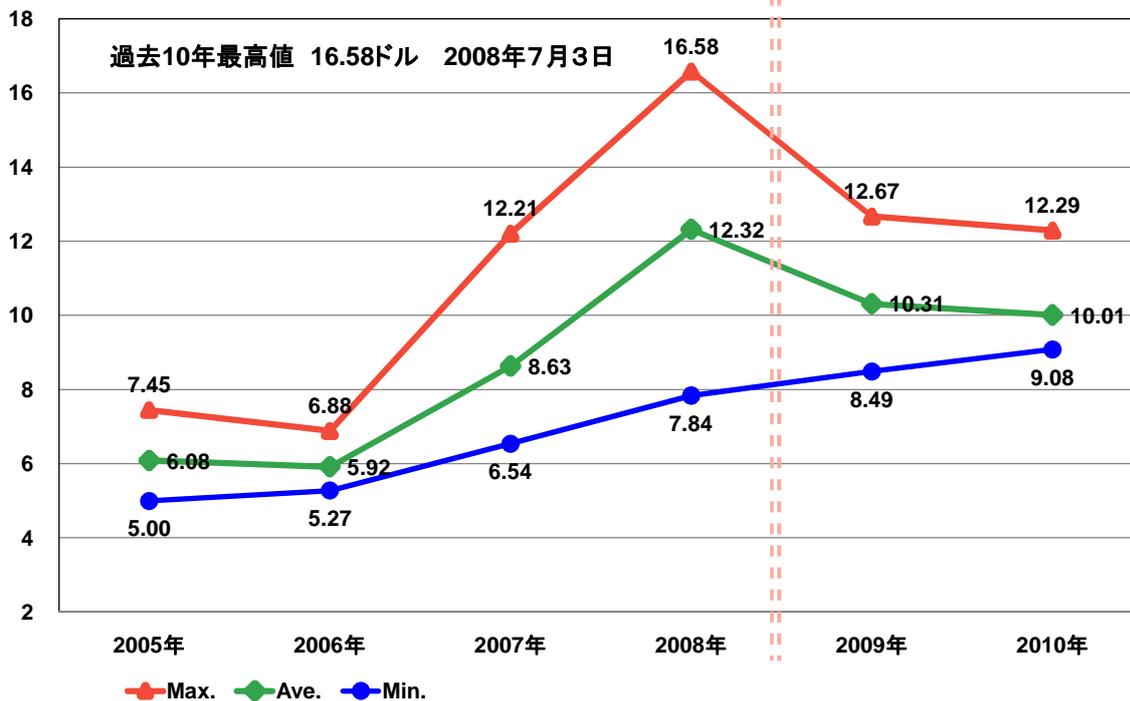
- 食用油
 - ・年度前半の原料大豆先物相場は、9～10ドルブッシェルで比較的安定して推移していたが、ロシアの小麦輸出禁止やコーン先物相場の上昇をきっかけに、天候要因や中国の大豆輸入の影響で13ドルを窺う気配にある。
 - ・これら需給要因に加え、米国の金融緩和による資金流入もあって、今後の展開は上昇が懸念される。

①業界を取り巻く環境(3) 大豆相場の動向

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



単位:ドル/ブツ



☆2010年は、1月～10月のデータである

①業界を取り巻く環境(4)

Ⅱ.2011年3月期 業績予測



■原料相場の動向

●鶏卵

- ・農家の生産調整と酷暑による鶏の減少とが絡み生産量が低下し、上期の相場は高値圏で推移した。
- ・下期もこの情勢が引き続き見通し。

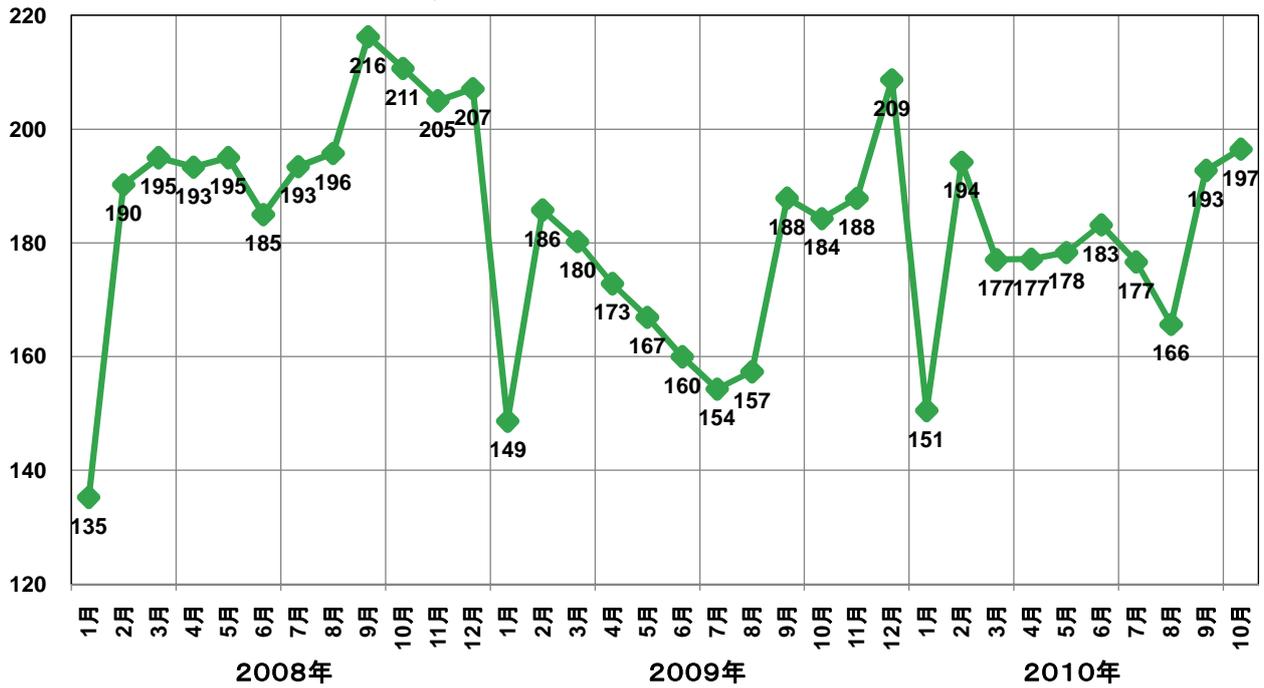
①業界を取り巻く環境(5) 鶏卵取引価格の動向

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



単位:円/kg

全農たまごMサイズ(東京)



①業界を取り巻く環境(6)

Ⅱ.2011年3月期 業績予測



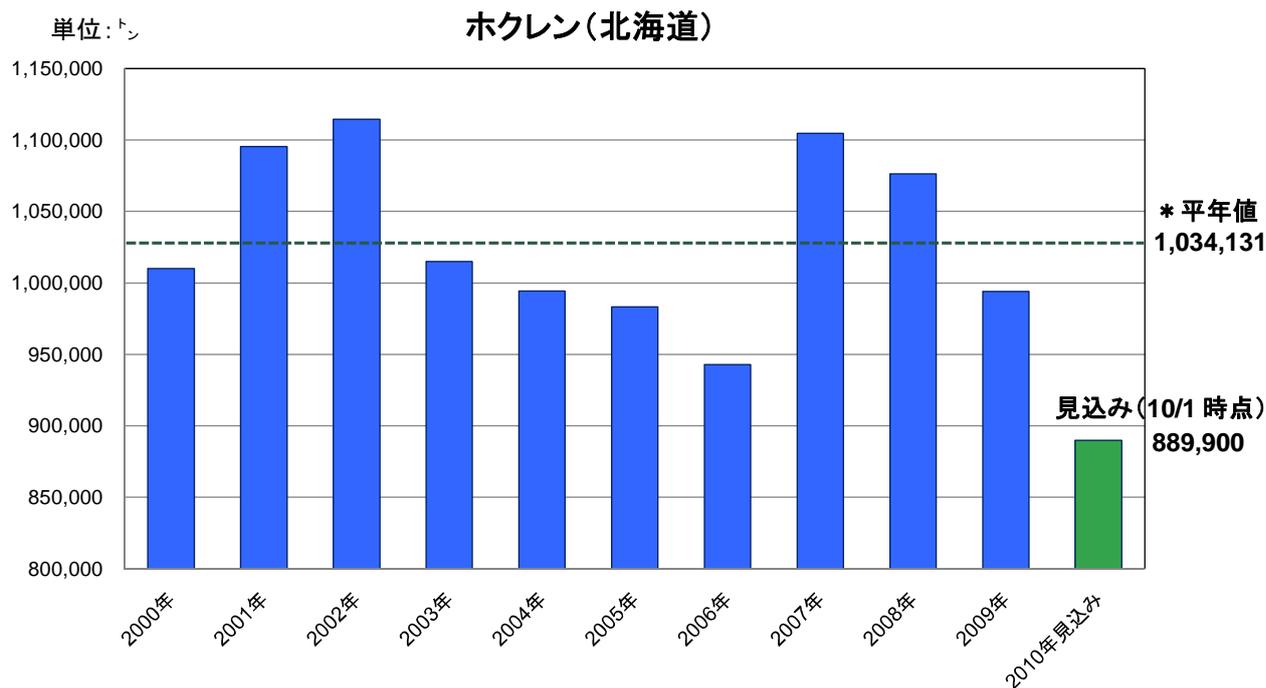
■原料相場の動向

●馬鈴薯

- ・ 作付面積の減少と異常気象により、主力産地の北海道は、2年連続の不作が確定した。(平年の3割減と見込まれる。)
- ・ 価格上昇と来春以降の馬鈴薯不足が懸念される。

①業界を取り巻く環境(7) 馬鈴薯生産量

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



* 平年値: 過去10年間での最大値・最小値を除く平均値

②2011年3月期業績予想(連結)

Ⅱ.2011年3月期 業績予想



- 下期も景気停滞やデフレの影響による販売単価下落を見込みながらも、中期経営計画(KVR)目標の達成に注力し、売上高経常利益率4.7%を確保する。

単位: 百万円・%

	2010年3月期 実績			2011年3月期 予想		
	金額	構成比	前期比	金額	構成比	前期比
売上高	51,101	100.0	-3.9	51,500	100.0	0.8
売上総利益	14,348	28.1	16.7	-	-	-
販売管理費	11,397	22.3	0.7	-	-	-
営業利益	2,951	5.8	202.0	2,570	5.0	-12.9
経常利益	2,853	5.6	209.9	2,400	4.7	-15.9
税金等調整前 当期純利益	2,681	5.2	263.8	-	-	-
当期純利益	1,446	2.8	380.6	1,230	2.4	-15.0
1株当たり 当期純利益	112円27銭			95円48銭		-15.0



Ⅲ. サラダ No. 1 企業を目指して

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.

— 中期経営計画(KENKO Victory ROAD)で掲げた目標の実現 —

Ⅲ. サラダ No. 1 企業を目指して



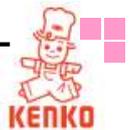
1. 商品の多様化、新機軸商品の開発

- ①マヨネーズ・ドレッシング類
 - ➡ 低カロリー、ノンオイルシリーズの開発
 - ・西日本工場に設備を導入して全国の生産を集約化

- ②ロングライフ・サラダ類
 - ➡ 冷凍サラダの開発
 - ・高齢者用やわらか食
 - ・レギュラー食品としての冷凍サラダ

- ③タマゴ類
 - ➡ タマゴ・ソースの商品化
 - ・卵黄ソース、全卵ソース

Copyright (C) 2010 KENKO Mayonnaise Co., Ltd. All rights reserved.



2. 生産設備の更新と強化

- ① 西日本工場(京都府舞鶴市)への設備導入
 - ・新機軸商品開発に対応
 - ・品質、生産性の向上を実現
- ② 西神戸工場(兵庫県神戸市)の強化
 - ・割卵ライン、ゆで卵ライン、タマゴサラダラインの強化
 - ・タマゴ事業には中長期的課題として取り組む
- ③ 省エネ設備導入



1. 国内事業の深耕と、すそ野の拡大

- ① サラダ → 総菜
- ② マヨネーズ・ドレッシング → ソース
- ③ タマゴ加工品 → 殻付きタマゴからタマゴ製品まで
- ④ 業務用メーカー
(縁の下の力持ち) → 市場演出型企业



2. 海外事業を着実に進める

① 先ず中国事業に専念。5年後には売上規模 35億円

・東莞サラダ工場の増強 → 2011年1月までに完成

・マヨネーズ・ドレッシング工場(杭州)の稼働
→ 2011年10月～11月頃

② 東南アジア市場開拓を模索